

採炭救国坑夫の像/夕張市



～道内最後のオリジナル像～

石炭産業に従事する人々の激励・慰問のため、軍需生産美術推進隊彫塑班の中村直人氏（二科会会員）と地元協力者らにより、1944（昭和19）年に建設された高さ3.63mの像です。戦時体制下で資材の入手が困難な上に、1週間以内の完成期限やコンクリート製大型塑像の野外制作といった困難な条件の下での作業となり、携わった関係者は完成までに非常に苦労したと伝えられています。完成当時は「進発の像」と呼ばれていましたが、戦後、石炭増産が経済復興を進める上で最重要課題となる中で「採炭救国坑夫像」と呼ばれるようになりました。

制作当時に設置されていた北炭夕張鉱業所前庭から、1985（昭和60）年に現在地に移転されました。

北海道で確認されている坑夫像は他に2体（三井砂川炭鉱、三井芦別炭鉱）ありますが、オリジナルとして残っているのは夕張だけとなっております。

住所	〒068-0401 夕張市高松7番地1
公開状況	公開休止中（2019年4月に発生した火災のため、現在休止中）
アクセス （自動車）	札幌から約64km 約1時間11分 【道央自動車道 江別東IC降 約57分】
アクセス （公共交通機関）	札幌から約2時間 JR石勝線 新夕張駅降車～夕鉄バス 夕張市石炭博物館降車
問い合わせ	夕張市教育委員会 電話：0123-52-3166 E-mail：ybrkik@city.yubari.lg.jp